

## 全日本新空手道連盟創師 神村榮一 略歴



1947年8月	東京都文京区生まれ。
1962年	大山道場に入門。
1965年	四国愛媛の遠征試合で先鋒を勤め、勝利。 遠征後、『What is karate』（大山倍達著・英語版）の制作に参加。跳び蹴りのモデルを務める。
1966年	協同企画エージェンシー（現・キョードー東京）に入社。
1971年11月	全日本キックボクシング初代王者決定戦をプロモートする。
1983年10月	正心館を設立。
1984年	ベニー・ユキーデと勇気道連盟を設立。
1989年7月	勇気道連盟から新空手道連盟に改名する。
1990年5月	第1回全日本新空手道選手権大会を開催する。 同年6月ドン中矢ニールセン対佐竹雅昭戦を実現させる。 同年8月、K-1ルール制定。
1992年1月	第1回トーワ杯カラテジャパンオープン開催。
1995年9月	K-3ルール制定。
1998年5月	K-4ルール制定。
1999年5月	拳神祭開催。
2001年11月	タイ国で出家。
2003年11月	新空手道連盟がNPO法人として認証される。
2007年12月	『新空手バイブル—勇気を欲する君へ—』（フル・コム編/東邦出版）を上梓する。